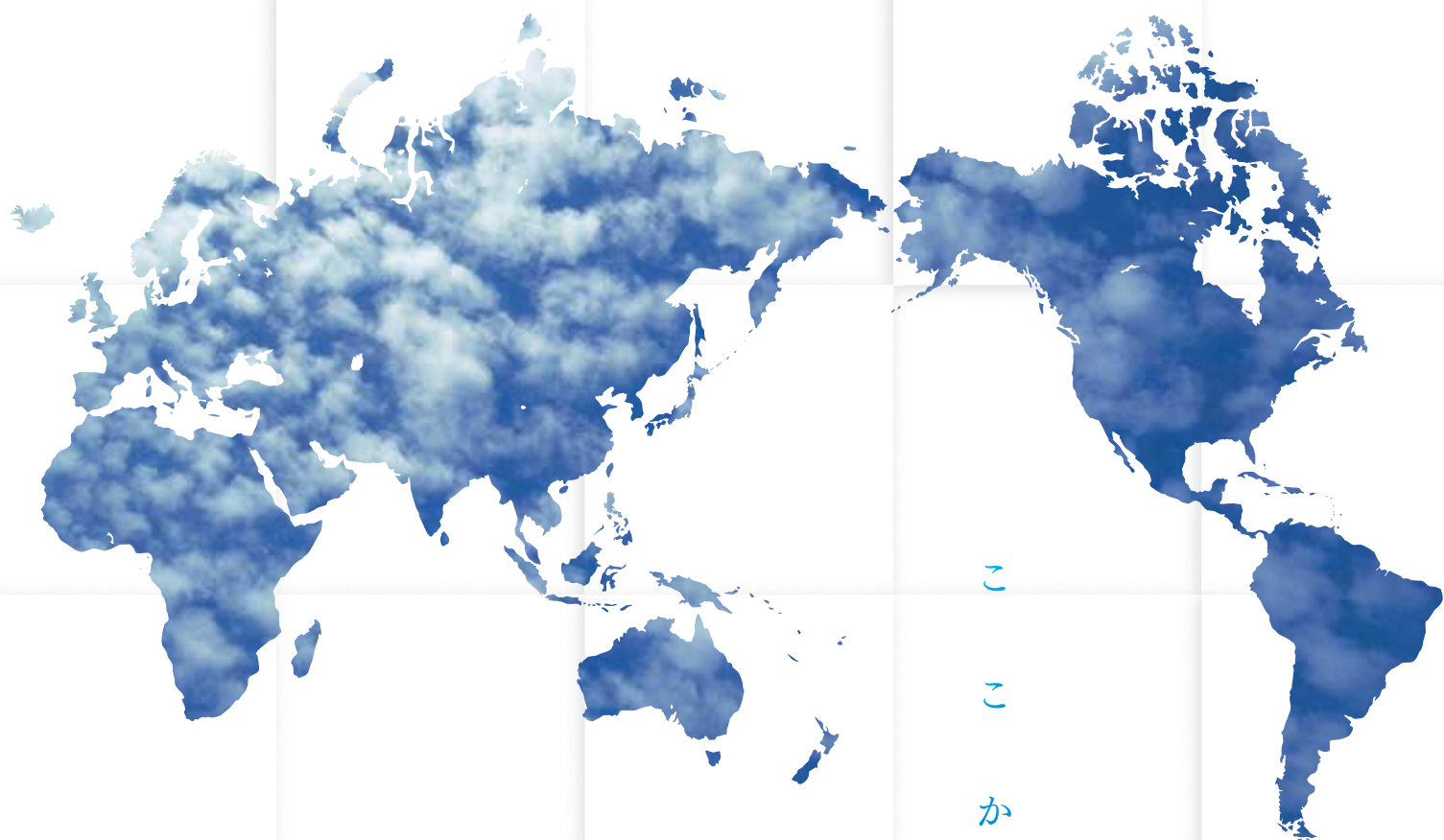


千葉県で初めての 公立の中等教育学校 が創設されます



こ
こ
か
ら
世
界
へ
。



千葉市教育委員会

れい わ ね ん ど い な げ こ う と う が こ う ふ ぞ く ち ゅ う が こ う
 令和4年度から、稲毛高等学校・附属中学校が



中等教育学校への移行スケジュール

※表中の数字は学級数

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	中等教育学校		
高等学校	3年	8	8	8	6	6	6	4	4	6年	後期課程
	2年	8	8	6	6	6	4	4	4	5年	
	1年	8	6	6	6	4	4	4	4	4年	
附属中学校	3年	2	2	2	4	4	4	4	4	3年	前期課程
	2年	2	2	4	4	4	4	4	4	2年	
	1年	2	4	4	4	4	4	4	4	1年	
学校規模	30	30	30	30	28	26	24	24			



令和4年4月に中等教育学校の前期課程の1年生が入学し、その後、年次進行で中等教育学校に移行します。令和9年度には、6学年の全てが中等教育学校となる予定です。色がついている部分が中等教育学校の部分となります。

ちばけん はじ こうりつ ちゅうとうきょういくがっこう
千葉県で初めての公立の中等教育学校となります。



目次

CONTENTS

- 2 ■ 移行スケジュール
- 4・5 ■ 中等教育学校が目指す教育 ● 学校像 ● 育成する生徒像
- 6・7 ■ 特色ある教育活動
- 8 ■ 教育長 挨拶
- 9 ■ 学校長 挨拶
- 10 ■ 探究活動とは
- 11 ■ Q&A
- 12 ■ 案内情報

新設される中等教育学校が目指す教育



がっこうぞう 【学校像】

ちいき せかい みらい き ひら 地域・世界・未来を切り拓く グローバル・リーダーの育成

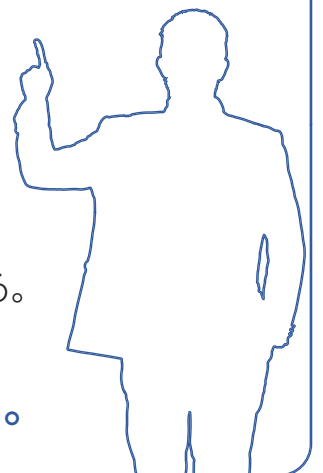
いま、世界では、人工知能（AI）やビッグデータ等の先端技術が高度化し、あらゆる産業や社会生活に取り入れられた Society5.0 時代が到来しつつあります。今後、社会の変化は加速度を増し、現在の子供たちが大人になる頃には、社会の在り方そのものが現在とは劇的に変わり、これまで人類が経験したことのない時代となっているでしょう。こうした時代には、次のような人材が求められるとされます。

◆ どのような未来を創っていくか、どのように社会や人生をより良いものとしていくかを主体的に考えることができる。

◆ 自らの行動を考え、責任を持って遂行できる。

◆ 想定外の事態に向き合い、他者と協働し調整することができる。

といった人材が求められています。





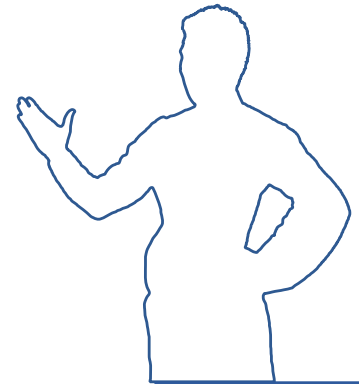
いくせい せいとぞう
【育成する生徒像】

たか ころざし も はばひろ きょうよう み
高い志を持ち、幅広い教養を身に
つ みらい き ひら せいと
付け、未来を切り拓いていく生徒

あたら ちゅうとうきょういくがっこう
新しい中等教育学校では

このように複雑で予測不可能な時代の中で、子供たち
自身が未来を切り拓くリーダーとなり、幸せで豊かな人生
を生きていくために必要な力を育成します。

幅広い教養と国際的視野
を身に付け、主体的に
物事に取り組み、多面的・
多角的に課題解決に向か
い、ワールドワイドに
情報発信でき、継続的に
努力できる人間を育成する
ことを目指します。



とくしよく きょういくかつどう 特色ある教育活動

ゆた ことくさいかんかく み つ
豊かな国際感覚を身に付けたグローバル・リーダー

1. 自分たちのことを理解する姿勢
じぶん りかい しせい
2. 異文化を理解する姿勢
いぶんか りかい しせい
3. コミュニケーション能力の育成
のうりよく いくせい

さまざま たいけん きかい せいと きょうみ かんしん ひ だ 1. 様々な体験の機会が生徒の興味・関心を引き出します！！

ちいき せかい してん た さまざま かだい たんきゅう かだい はっけん かいけつがたがくしゅう
地域や世界の視点に立ち様々な課題を探究する課題発見・解決型学習

しゃいかい かいだい せかいてき かいだい ふか かんが たいけいてき
社会課題・世界的課題を深く考える体系的な
たんきゅうかつどう ちばし せかい しや
探究活動により、千葉市から世界へと視野を
ひろ みるい き ひら ちから いくせい
広げ、未来を切り拓く力を育成



ちばしちょう ようす
千葉市長とのタウンミーティングの様子

さいしん せつび そな
最新の設備を備えたアクティブラーニング
ルームなど、生徒の主体的・協働的な学びを
せいと しゆたいてき きょうどうてき まな
引き出す様々な設備を活用
ひ だ さまざま せつび かつよう



そうごうてき たんきゅう じかん せいと
総合的な探究の時間における生徒による
プレゼンテーション

2. 世界に触れることができる機会を充実させます！！

ちゅうこういっかんきょういく とくせい い こくさいきょういく
 中高一貫教育の特性を生かした国際教育

すべ せいと かいがいけんしゅう
 全ての生徒が海外研修に
 行くなど世界に直に触れる
 きかい じゅうじつ
 機会を充実



ごがくけんしゅう ようす
 オーストラリア語学研修の様子

ぜんきかてい
 前期課程からネイティブ
 きょういんたんどく
 教員単独によるオールイング
 リッシュの授業を展開



ネイティブ教員による
 えいごじゅぎょう ようす
 英語授業の様子

ひとりいちだい かつよう
 1人1台パソコンを活用し
 こくさいきょういく
 た国際教育



えいご じゅぎょう
 英語の授業でパソコンを
 かつよう ようす
 活用している様子

3. 夢の実現に向けた力を身に付けさせます！！

じせだい しゃかい ささ ししつ のうりよく いくせい はばひろ きょうよう いくせい
 次世代の社会を支える資質・能力を育成する幅広い教養の育成

そうき きそてきがくりよく ちゃくじつ
 早期に基礎的学力を着実に
 いくせい おうりよく はぐく がくしゅう
 育成し、応用力を育む学習
 ちゅうりよく
 に注力できるカリキュラム
 へんせい
 編成



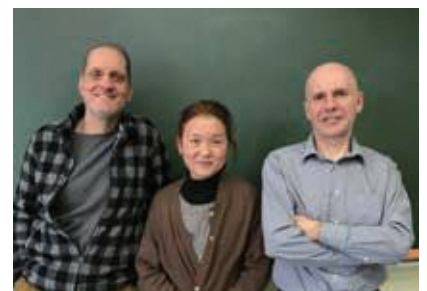
きそ おうりよく けいかく
 基礎から応用まで計画された
 カリキュラムにより確かな学力を
 たし がくりよく
 身に付ける

こうきかてい たんいせいどうにゆう
 後期課程への単位制導入に
 より、各自の興味・関心
 かくじ きょうみ かんしん
 に応じて学び、文・理に偏ら
 おう まな ぶん り かつたよ
 ない幅広い教養を習得



かつどう せいと
 グループ活動をととした生徒の
 しゅたいてき とく
 主体的な取り組み

ふくすう げんご えら
 複数の言語から選べる
 だいにがいこくご じゅぎょう
 第二外国語の授業を
 せんたくかのう
 選択可能



けいけんゆた だいにがいこくご しゃしんひだり
 経験豊かな第二外国語(写真左から
 こ ちゅうごくご こ
 ドイツ語・中国語・フランス語)
 せんもんまういん
 の専門教員



あら しゃかい まな 新たな社会への学び

ちばしきょういっくいんかいぎょういっくちょう
千葉市教育委員会教育長

いその かずよし
磯野 和美

れいわ ねん がつ ちばしりついなげこうとうがっこう ふぞくちゅうがっこう ちばけんない こうりつがっこう はじ
令和4年4月、千葉市立稲毛高等学校と附属中学校は千葉県内の公立学校として初めて
ちゅうとうきょういっくがっこう ちゅうとうきょういっくがっこう がっこうぞう ちいき せかい みらい き ひら
となる中等教育学校となります。中等教育学校の学校像を「地域・世界・未来を切り拓く
グローバル・リーダーの育成」、育成する生徒像を「高い志を持ち、幅広い教養を身に付
みらい き ひら せいと とくしよく きょういっくかつどう てんかい
け、未来を切り拓いていく生徒」とし、特色ある教育活動を展開してまいります。

ちゅうとうきょういっくがっこう ちゅうがっこう そうとう ねんかん ぜんきかてい およ こうとうがっこう そうとう
中等教育学校は、中学校に相当する3年間の「前期課程」及び高等学校に相当する3
ねんかん こうきかてい けい ねんかん ちゅうこういっかんきょういっく がっこう いったいてき おこな がっこう
年間の「後期課程」の計6年間の中高一貫教育を、一つの学校として一体的に行う学校で
ねんかん まな ちゅうこういっかんきょういっく とくせい い こくさいきょういっく じっし ちいき
す。6年間をとおした学びで、中高一貫教育の特性を生かした国際教育の実施、地域や
せかい してん た さまざま かだい たんきゅう かだいほっけん かいけつがたがくしゅう じっし じせだい しゃかい ささ
世界の視点に立ち様々な課題を探究する課題発見・解決型学習の実施、次世代の社会を支
ししつ のうりよく いくせい はばひろ きょうよう つちか めざ
える資質・能力を育成する幅広い教養を培うことを目指します。

こんご ちょう しゃかい い そさえてい おとず
今後、「超スマート社会」と言われる「Society 5.0」が訪れようとしております。こ
そさえてい せんたんぎじゅつ こうどか さんぎょう しゃかいせいかつ と い
の「Society 5.0」は、先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられ、
せいかつ げきてき べんり かいてき しゃかい えーあいぎじゅつ はってん ていけいてきろうどう
生活は劇的に便利で快適なものになる社会ですが、AI技術の発展により、定型的労働な
げんざいにんげん おこな しごと おお えーあい だいたい い
ど現在人間が行っている仕事の多くがAIやロボットに代替されるとも言われています。
しゃかい こた と たい しゅたいてき かんが たよう たちば もの きょうどうてき
このような社会では、答えのない問いに対し、主体的に考え、多様な立場の者と協働的に
ちょうせい かいけつさく う だ えーあい にんげん つよ
調整し、解決策を生み出していくなど、AIにはできない人間ならではの強みをいかして
もと たびそうせつ ちゅうとうきょういっくがっこう しゃかい もと
いくことが求められます。この度創設する中等教育学校では、このような社会で求められ
ちから はくく さまざま ぶんや かつやく あら しゃかい けんいん じんざい いくせい
る力を育み、様々な分野で活躍する新たな社会を牽引する人材を育成します。

ちばしりついなげこうとうがっこうおよ ふぞくちゅうがっこう つちか しゃん けいしゅう
これまでの千葉市立稲毛高等学校及び附属中学校で培った資産をしっかりと継承すると
きょうしよくいん せいとおよ そつぎょうせい おも う さら はってん しみん みなさま きたい
もに、教職員や生徒及び卒業生の想いを受けとめ、更に発展させ、市民の皆様のご期待に
そ ちゅうとうきょういっくがっこう とくしよく がっこう すす
添うことができるよう、中等教育学校ならではの特色ある学校づくりを進めてまいります。
しょうがくせいおよ ほごしゃ みなさま ちゅうとうきょういっくがっこうだい きせい まな
小学生及び保護者の皆様、中等教育学校第1期生として学んでみませんか。



継承と発展

ちばしりついなげこうとうがっこう ふぞくちゅうがっこう こうちょう
千葉市立稲毛高等学校・附属中学校 校長

さとう けいじ
佐藤 啓之

この度本校は、千葉県で初めての公立中等教育学校になります。これまでの本校の教育活動等を受け継ぎながら更に発展させるとともに、中等教育学校として新たな特色のある学校づくりに取り組みます。

本校はこれまで、地域の皆様に支えられ教育活動を行い、数々の大きな成果を上げてまいりました。生徒は、授業のみならず、学校行事、部活動に精一杯取り組んでおり、教職員とともに、学校全体を盛り上げています。文部科学省「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール (SELIH)」、「地域との協働による高等学校教育改革推進事業 (グローバル型)」に指定され、その研究の成果を生かし授業を行っています。

前期課程では、これまでの附属中学校の教育課程、例えば、ネイティブ講師による英語の授業や少人数授業等を発展させるとともに、高等学校の学習内容を一部前倒して学習します。給食もあります。

後期課程は、全日制の課程・普通科で、単位制とします。高等学校の教育内容を行うとともに、国際教養科での取り組み、例えば、先進的な英語教育や国際教育、海外研修、英語によるディベートやディスカッション等の授業を生徒全員を対象に行う予定です。また、学習指導はもとより、きめ細やかな進路指導を行い、生徒一人一人の卒業後の進路希望の実現を目指します。多様な選択科目を設置するなど、学ぶ意欲をより一層大切にします。

中等教育学校開校後数年間は、中等教育学校・高等学校・附属中学校の3校が併存する学校となります。

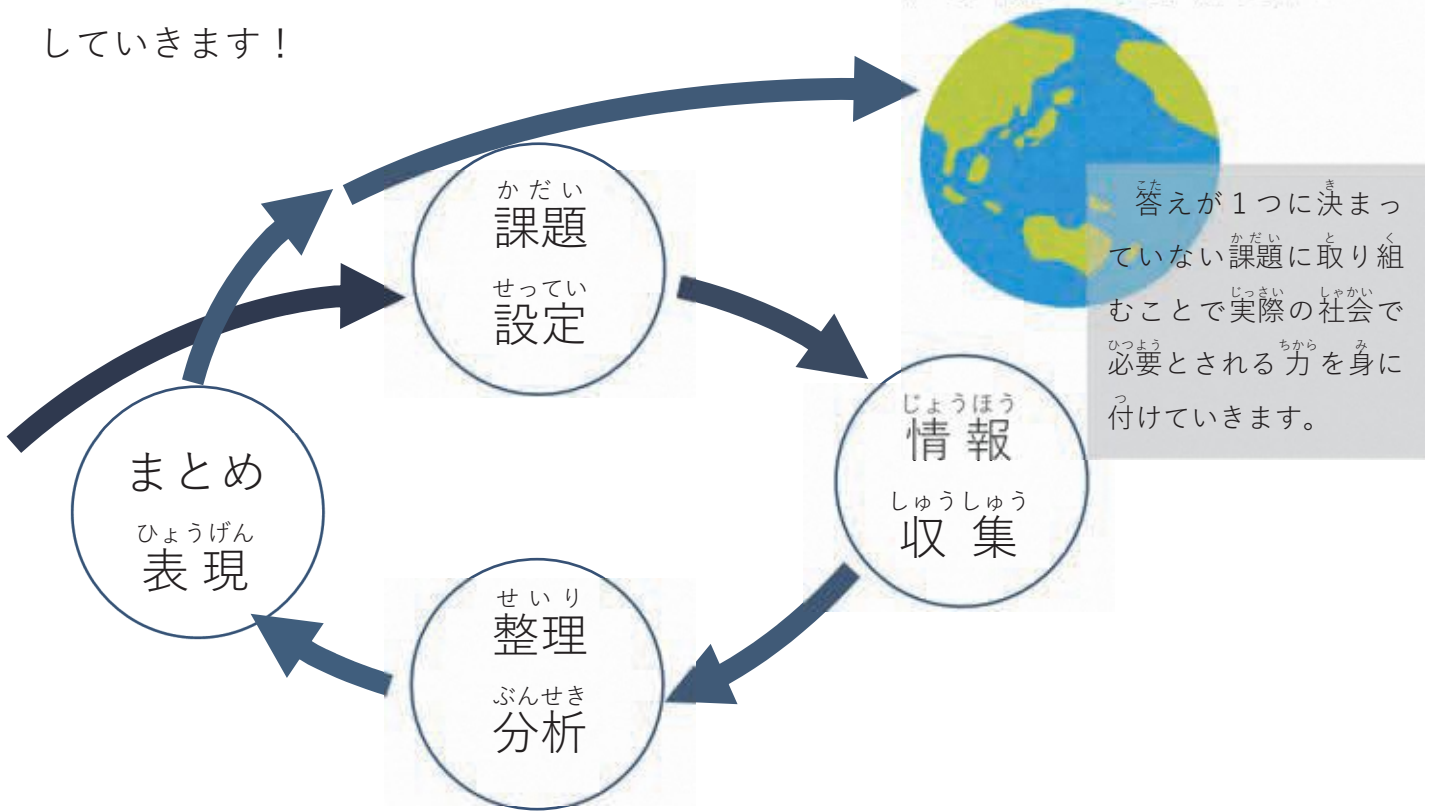
今後も地域や保護者の皆様に信頼され、愛される学校づくりをしてまいります。

新たな伝統を創るのは皆さんです。中等教育学校で先輩や仲間とともに学びましょう。

たんきゅうかつどう 探究活動とは

せいとみずか かだい せってい
生徒自らが課題を設定し、インタビューやアンケート、現地調査、文献調査
などの調査活動を行い、それらを整理して考察し、発表する活動です。

ねんかん はったつだんかい おう さまざま かつどう おこな しこうりょく ひょうげんりょく の
6年間かけて発達段階に応じた様々な活動を行い、思考力・表現力を伸ば
していきます！



▼ げんざい いなげ こうとう がっ こう ふ ぞくちゅうがっこう と く じ れい しょう かい
現在稲毛高等学校・附属中学校で取り組んでいる事例を紹介します。

あたらし ちゅうとうぎょういっくがっ こう と く けいけん い よ
新しい中等教育学校でも、これまでの取り組みの経験を活かして、より良い
たんきゅうかつどう けい かく
探究活動ができるように計画をしています。

- | | | |
|-------|----|------------------|
| こうこう | ねん | かいがいごがくけんしゅう |
| 高校 | 2年 | 海外語学研修 |
| | ねん | ちばしそうせい |
| | 1年 | 千葉市創生プロジェクト/英語合宿 |
| ちゅうがく | ねん | とうきょう |
| 中学 | 3年 | 東京ABCプロジェクト |
| | ねん | なりた |
| | 2年 | 成田プロジェクト |
| | ねん | い ちばん |
| | 1年 | iちばnプロジェクト/言語技術 |





Q： 中等教育学校になると何が**変わる**のですか？

A： 中等教育学校は、中学校と高等学校の6年間の教育を1つの学校として**一体的**に行う学校です。6年間を一貫して教育することにより、効果的な教育カリキュラムを編成できること、6年間をとおして生徒の状態を把握し指導できること、6年の異学年での交流ができること、高校受験に追われずゆとりをもって学ぶことができること、などのメリットがあります。

稲毛高等学校・附属中学校では、これまでも中高一貫による質の高い教育を実施してきましたが、中等教育学校になることによりそのメリットが**最大化**されます。

特に教育課程の面では、早期に基礎的学力を**着実に**育成し応用力を育む学習に注力できるカリキュラムを編成するなどこれまで以上に**充実**したものになります。

また、開校にあわせて校舎の大規模改修工事を行うこととしており、工事完了後はより良い教育環境で学ぶことが**可能**となります。

Q： 大規模改修工事の**スケジュール**はどのようになっていますか？

A： 令和4年度に中等教育学校が開校した後、令和8年度までの間に校舎の大規模改修工事を行う**予定**にしています。

工事期間中は、仮設校舎や現校舎とは離れた代替の施設において教育活動を行うことになる場合がありますので**ご了承ください**。

Q： **海外研修**があるのですか？

A： 原則**全ての**生徒が海外研修に行くことになります。

千葉市立中等教育学校について

■千葉市立中等教育学校の応募資格

令和4年3月小学校卒業見込みであること。
千葉市在住であること。

■募集人数

160名

※中等教育学校では、高校段階(後期課程)からの生徒募集はありません。

保護者説明会については、教育改革推進課の ホームページでお知らせします。

(<https://www.city.chiba.jp/kyoiku/gakkokyoiku/kyoikukaikaku/documents/r2-1tyuutoukyouikugakkougakkousetumeikai.pdf>)



上のQRコードから
も閲覧できます

学校の所在地

千葉市立稲毛高等学校・附属中学校
〒261-0003 千葉市美浜区高浜3-1-1
【附属中学校 TEL: 043-270-2055】
【高等学校 TEL: 043-277-4400】



入学者募集に関するお問い合わせ TEL: 043-245-5914

千葉市教育委員会学校教育部教育改革推進課
〒260-8730 千葉市中央区問屋町1-35 千葉ポートサイドタワー11階

*本パンフレットの内容は、令和2年12月時点での案であるため、今後変更があり得ます。